

プレプリント情報の搭載について

2021年 11月

情報企画部 知識インフラグループ



科学技術振興機構

本日のご説明の目的及び目次

目的

JDreamⅢに搭載予定の「プレプリント情報」について、概要、搭載に至った背景、搭載予定データについてのご紹介。

目次

- プレプリントの概要
- プレプリント搭載の目的/背景
- 搭載対象のプレプリントサーバー
- プレプリント・サーバーからの搭載予定データ項目
- 初回搭載予定のデータ件数
- ご参考)プレプリント情報に関する動向

プレプリントサーバーの概要

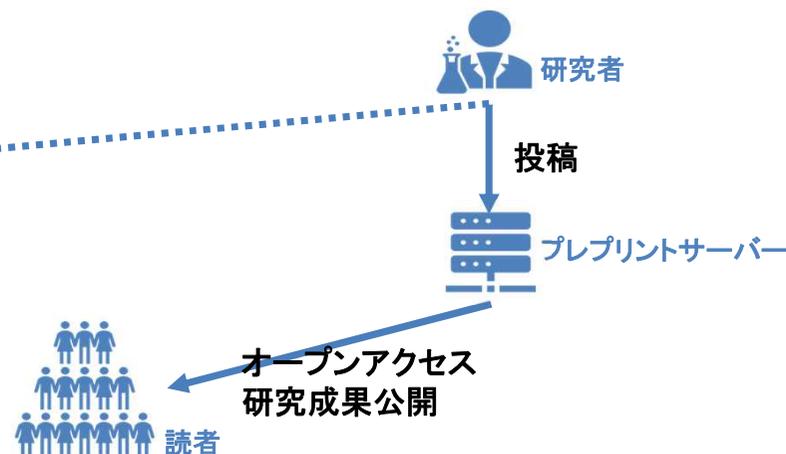
プレプリントとは、「査読を通過する前の論文」のことです。
海外で構築された「プレプリントサーバー」では、著者自らが投稿したプレプリントを収録・オープンアクセスで公開しています。

従来の投稿



査読により、一定の品質が保たれるが、研究成果公開までに時間がかかり、スピード感に欠ける。

プレプリントサーバーへの投稿

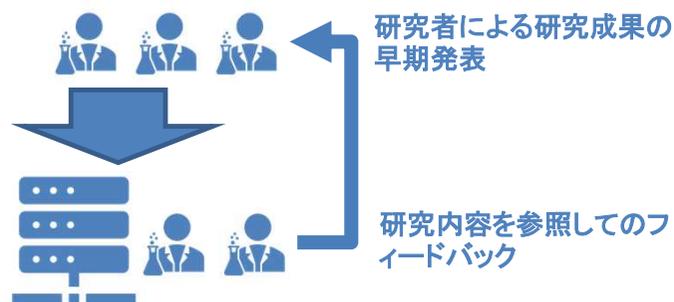


いち早く新技術を発表でき、研究開発への大きな貢献が期待できる。しかし、査読を経た原著論文に比べ信頼性が低い傾向にある。

プレプリント搭載の目的/背景

プレプリントの「速報性の高さ」という強みに着目し、今回、プレプリントサーバから入手したプレプリント・書誌情報をJDreamIIIに搭載することといたしました。なお、COVID-19流行を契機としてプレプリントサーバの注目度は急速に上がっており、投稿数は大幅に増加しています。従って、本取り組みによって、より速報性及び注目度の高い文献の収集・確認に繋げることができます。

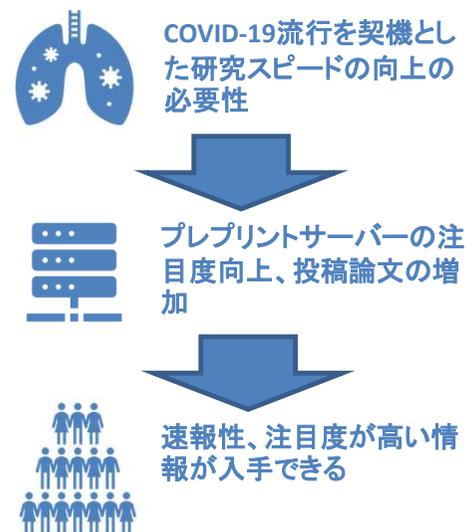
研究開発への貢献の増大



メリット(例)

- 発表者
 - 先取権の取得
 - 発表内容に対するフィードバックを受けての成果のブラッシュアップ
- 参照者
 - 研究成果を参照し、自己の研究への反映
 - 早期の共同研究の実施

注目度の高い文献の収集・確認



搭載対象のプレプリント・サーバー

今回は、注目度や信頼度、収録範囲、データ取得のしやすさ等の観点から、下記3サーバーを搭載対象としています。

サーバー名	選定理由	収録範囲
arXiv	最も歴史があり信頼度が高く、収録件数180万件以上と最大規模を誇る	物理、数学、コンピュータサイエンス、定量生物学、定量金融・統計学
bioRxiv	生物・医学系でCOVID研究で2020年より急激に注目が高まっており、収録件数も急増している	生物学
medRxiv		医学、臨床研究、及び関連する健康科学

※上記3サーバについては、「API等でデータ取得が可能」「サービスに必要なデータ項目と品質を有している」ことを確認済み。

ご参考)プレプリント情報に関する動向1/2

プレプリント情報に関しての興味・関心は高くなっている傾向にあり、2021年度以降、例えば下記のようなニュースがある。

- **eLife、投稿プロセスにmedRxivを統合すると発表(2021年4月)**
オープンアクセス誌のeLifeが、投稿プロセスに医学分野のプレプリントサーバーmedRxivへの投稿を統合するもの。
- **WHOとドイツ、パンデミックおよびエピデミックインテリジェンスのためのハブ(WHO Hub)を構築すると発表(2021年5月)**
WHO Hubは、マルチセクターデータの共有およびネットワークアクセス環境の構築、データ分析におけるイノベーションの促進、世界的な公衆衛生上の脅威の予測・防止・発見・対応に必要な実践コミュニティの構築を目的とするもの。各国の公衆衛生専門家や政策立案者が将来の公衆衛生上の緊急事態を予防し、対応するために、迅速な意思決定ができる知見を提供する
- **Crossref、プレプリントメタデータ改善のためのアドバイザリーグループ設置を発表(2021年6月)**
例えば、プレプリントが取り下げられたあるいは削除された際の通知の改善、バージョンングの正確な記録、プレプリントサーバー名の表示の改善を実施する。..

ご参考)プレプリント情報に関する動向2/2

- **RNSA、JiscとRead & Publish契約を締結したと発表(2021年6月)**
本契約により、Jisc参加機関は、同学協会のジャーナル“Radiology”および“RadioGraphics”に無制限にアクセスでき、Jisc参加機関の著者は、原著論文、技術開発、エラタム、データリソースに関する論文・記事が無制限にOA(オープンアクセス)で出版できる。
- **eLife、医学分野のプレプリントを対象とした臨床医および臨床研究者による編集監視システムとコンサルティング査読の導入を発表(2021年6月)**
eLifeは、この新たなアプローチを通じてmedRxivで「査読済みプレプリント」を作成することが目標だとし、査読済みプレプリントが、JIF(Journal Impact Factor)ではなく、医学研究の質を評価するための信頼できる指標になることを期待すると述べている。
- **Research Square社、プレプリントの投稿数が10万件を超えたと発表(2021年9月)**
同社は、プレプリント投稿数が増加し続けていることに言及。2020年11月に5万件を達成して以来、1日当たりの投稿数が65件から206件に増加したという。
- **Elsevier社、Scopusの著者プロフィールのコンテンツにSSRNのプレプリントを追加(2021年9月)**
同社は1月、Scopusの著者プロフィールのコンテンツにarXiv、ChemRxiv、bioRxiv、medRxivのプレプリントを追加した。現在、Scopusの100万件以上の著者プロフィールには90万件のプレプリントが登録されており、今年中にSSRNの2017年以降の約17万件のプレプリントが追加されるという。